

平成 19 年 3 月 26 日

日興コーディアル証券株式会社

日興コーディアル証券 2007 年 春季部店長会議 (3 月 24 日)

北林幹生 (取締役社長) 発言要旨

### 要旨

貯蓄から投資への流れを受け、個人金融資産が資本市場に流入していることに加え、企業活動の更なるグローバル化で、金融ニーズ・ソリューションも多様化・グローバル化が進展しています。一方、金融サービスの提供者の側では、国内の銀行、証券、郵政公社などがそれぞれの強みを活かして、金融サービスの質を競う“大競争時代”でもあります。

会社法や金融商品取引法などの法制度の整備も進み、これからの社会は公正かつ透明性の高い資本市場の機能を最大限活用する時代になっていくと考えます。一方、日興コーディアルグループ固有の事としては、一連の問題による影響や、シティグループとの包括的戦略提携を早期に具体化するということがあります。

このような環境の下、これから一年間の経営方針および経営課題を策定しました。

#### ➤ 経営方針

～お客様に安心してお取引いただける、国内最高の金融サービス会社を目指す～

社員、商品、サービスすべての面において、さらに体制を整備し、お客様から最高の信頼を得ることが、営業基盤の拡大そして当社の持続的な成長につながると思っており、2007 年度の経営方針を、「お客様に安心してお取引いただける、国内最高の金融サービス会社を目指す」としました。

➤ 経営課題

1. 時代を先取りする経営インフラ整備

- ◆ 透明性の高い経営に資する企業統治・内部管理体制の整備（J-SOX 対応等）
  - ◆ 新管理会計システムを活用し適切なコストコントロール
  - ◆ 制度変更への迅速かつ確実な対応
- コーポレートガバナンスの強化は企業のパフォーマンスを上げる

2. 時代の流れを捉えた革新的な金融サービスの提供

収益の多様化により経営の安定化を目指す

3. 権限委譲と人材育成強化

- ◆ 経営の活性化に向けた権限委譲の実践
- ◆ 若手社員を中心とした育成体制の強化

4. シティグループとの包括的戦略提携の早期具体化

最も日本的で、最もグローバルな金融サービス会社を目指す